

あおぞら

Denenchofu Central Hospital Free Paper

Vol. 37
2019.5

田園調布中央病院
広報誌あおぞら

TOPICS: 「知っておきたい 医療費の仕組み」

医事課課長 山口 健真 Kenshin Yamaguchi



病院に受診をすると掛かる費用はどの様に決まるのか、皆様はご存知でしょうか。

診療を受けた際の医療費は、正式には「診療報酬」と呼ばれます。

診療報酬は国が決めた診療報酬点数表に基づきすべての医療行為に点数が付けられており、**1点につき10円が報酬額**と定められています。つまり、点数の合計×10円が医療費の総額となります。実際に窓口で支払われる金額は、その総額の3割や1割分となります。

入院費用の計算方法については、その病院が地方厚生局に届け出ている入院料の区分、または病名・状態に応じて異なります。当院では、
「出来高による入院算定」
「DPCによる算定」
「地域包括ケア入院料による算定」
3つのパターンの入院費を算定しています。

実際に入院した時に、窓口での支払額が高額で大変だった、という経験がある方も多いのではないのでしょうか。

今回皆様にお伝えしたいのが「**高額療養費制度**」についてです。

高額療養費制度とは、高額な医療費がかかった際に自己負担限度額を超えた治療費を返してくれる制度です。窓口で医療費を支払った後、後日差額が保険者より還付されます。

入院して医療費が高額になる可能性がある場合は、「**限度額適用認定証**」を病院に提示することで、自己負担額が窓口支払い時から適用され、一度に支払う金額を抑えることが出来ます。事前に手続き・申請をしておく大変便利です。

詳しくは、5月28日(火)に行われます公開講座にてお話し致します。皆様のお越しをお待ち申し上げます。



公開講座お申し込みは、お電話または窓口へお申し出くださいませ。

TEL : 03-3721-7121 (代) 受付時間 : 平日 9時から16時30分・土曜日 9時から12時30分まで



「平成」から「令和」へ

30年続いた「平成」の時代も終わり、5月より「令和」の時代となりました。私たちにとっては身近な元号ですが、現在使用しているのは日本だけということをご存知でしょうか。

元号が使用され始めたのは、中国の前漢の武帝の時です。その後、近隣諸国で使われ始め、日本でも使われるようになったのは飛鳥時代の「大化」からでした。アジア東部で広く使われていた元号ですが、徐々に使われなくなり、今も採用されている国は日本だけです。

元号を改めることを「改元」と言います。改元を行う理由は、国家の繁栄と民の平安を願うことにあります。現在は皇位の継承があった場合に限り改元するとされていますが、

明治時代より前は大地震や火災が起きた時、疫病が流行した時も改元されてきたのです。

大化から平成までの元号は全部で247もあります。大体5年程度で改元していたと考え、昔はいかに災害が多かったかということがわかります。

「令和」には、「一人ひとりの日本人が、明日への希望と共に、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい」という願いが込められているそうです。これから到来する新しい時代を、心新たに迎え入れていきましょう。



ゴールデンウィークの診療のご案内

日時	午前	午後
5月1日 (水)	通常診療 内科・外科 整形外科・眼科	通常診療 内科・外科
5月2日 (木)	通常診療 内科・外科	通常診療 内科・外科 整形外科
5月3日 (金)	救急体制	救急体制
5月4日 (土)	救急体制	救急体制
5月5日 (日)	救急体制	救急体制
5月6日 (月)	救急体制	救急体制
5月7日 (火)	通常診療	通常診療

急患（急病）患者様につきましては24時間対応しております

医療法人社団七仁会
TMG 田園調布中央病院

成瀬院長の **きまぐれ勉強会**

今から **コツコツ** 予防しましょう！
こつ そ しょう しょう

骨粗鬆症

当院1階待合フロアにて
参加費無料の講演です！
お気軽にご参加くださいませ

■講演日 毎週水曜日
12:00より15分程度
5月15日/5月22日/5月29日/6月5日

きまぐれ勉強会

5月のテーマは・・・

『骨粗鬆症（こつそしょうしょう）
について院長の成瀬がお話します。』

参加費無料の講演です。
お気軽にご参加ください。